

JA全農ウィークリー

4
5
面

多彩なCMで米の消費拡大目指す

(各県本部)

(各県本部)

2面

京大 i P S 細胞研究所と

業務連携協定締結
(広報・調査部)



業務連携協定を結んだ京都大学iPS細胞研究所所長の山中伸弥教授(左)と全農の長澤豊会長(2面)



期間限定発売の「キリン氷結ストロング山梨産太陽のすもも」(左)と「同 新潟産ルレクチエ」(3面)



各県本部が展開する米の消費拡大CM(4-5面)



- 2 JA会津よつば南郷トマト生産組合員が
JGAP取得(福島県本部)
- 倉庫温湿度管理システム
「楽々日誌パナミエール」発売(米穀部)
- 3 東北地区JA店舗ディスプレイコンテスト
2019表彰大会開催(耕種資材部)
- 大阪で手書きPOP研修会を開催
(くらし支援事業部)
- 国産果汁のチューハイを期間限定発売
(山梨県本部、新潟県本部)

- 8 農泊ポータルサイト「農泊.net」を開設
(くらし支援事業部)
- 「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」
プレゼント(広報・調査部)
- JAタウンショップ紹介
いわて純情館(JA全農いわて)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

- 6 ロボットをサルモネラ検査に活用
(畜産生産部)
- AG/SUM(アグサム) 2019に出展
(広報・調査部)
- 7 青果情勢(園芸部)

JA全農ITTF卓球ワールドカップ団体戦 2019TOKYO結果報告(広報・調査部)

**全日本卓球選手権大会カデットの部
山口県産米「きぬむすめ」を入賞者に贈呈
(広報・調査部)**

**Web
限定**

**カーリング パシフィックアジア選手権(中国)で
食事サポートを実施(広報・調査部)**

全日本一輪車マラソン大会に協賛
今大会から「全農杯」で表彰(広報・調査部)

News!



京大iPS細胞研究所と業務連携協定を締結

広報活動で連携し、寄付を促進

広報・調査部

京都大学iPS細胞研究所とJA全農との 業務連携協定締結式



業務連携協定の締結式に出席した山中教授(左)と全農の長澤豊会長(東京・大手町のJAビルで)

同研究所の運営には公的研究費だけでなく寄付金が重要な役割を果たしています。

全農は同研究所と広報活動において連携し、寄付を促進することを通じ、iPS細胞を利用した医療の発展に寄与するとともに、本連携によって得た知見を生かして、食を通じた健康づくりの推進、国産農畜産物の普及・啓発活動に取り組みます。

全農は10月28日、京都大学iPS細胞研究所(所長・山中伸弥教授)との間で、iPS細胞技術の啓発と研究支援のための寄付を促進することを目的に業務連携協定を締結しました。

News!



生産者の足並みそろえ、JGAP取得

JA会津よつば南郷トマト生産組合メンバー 31人

福島県本部



JGAP団体認証を取得した南郷トマト生産組合役員のみなさん

毎年、新規就農者がある生産組合の運営上、生産者の意識格差が悩みでした。そこで、組合内のルールを明確にし、生産者の足並みをそろえることを目的にGAPに取り組みことにしました。

GAP認証に取り組む中で、生産者やJA内部でとことん話し合いをすることで、問題点や実施すべきことが明白になりました。

今回は会員122人のうち31人が認証を取得しました、今後全員での認証取得を目指します。

福島県JA会津よつば南郷トマト生産組合の31人は、9月24日付でJGAP団体認証を取得しました。

News!



倉庫温湿度管理システム「楽々日誌パナミール」発売

帳票作成業務を省力化

米穀部



「楽々日誌パナミール」の機能の紹介
(国際衛生株のホームページから)

同システムは衛生管理にノウハウを持つ国際衛生株式会社が開発した農業倉庫向け温湿度管理の自動化・遠隔監視、および管理日誌作成補助機能を具備したシステムで、帳票作成業務の省力化を図ることができます。また、付随サービスである専門オペレーターの衛生診断により改善点の把握も可能です。

全農は10月11日、倉庫温湿度管理システム「楽々日誌パナミール」を発売しました。

News!



東北地区JA店舗ディスプレイコンテスト2019表彰大会を開催

今後の資材店舗への取り組みを後押し

耕種資材部



一等地部門で金賞を受賞したJAいわて中央グリーンセンター矢巾のディスプレイ

コンテストで表彰されたJA店舗の皆さん

した。



このコンテストは、東北管内の資材店舗活性化を目的に2012年から開いています。表彰されたJA担当者からは、「売り上げが増加した」「お客さまとの会話が增えた」「他の店舗を参考に来年はさらにレベルを上げた」「などの意見があり、今後の資材店舗の取り組みに対する意気込みが語られました。

このコンテストは、東北管内の資材店舗活性化を目的に2012年から開いています。表彰されたJA担当者からは、「売り上げが増加した」「お客さまとの会話が增えた」「他の店舗を参考に来年はさらにレベルを上げた」「などの意見があり、今後の資材店舗の取り組みに対する意気込みが語られました。

耕種資材部（東北営農資材事業所）は10月16日、仙台市内で「東北地区JA店舗ディスプレイコンテスト2019」の表彰大会を開きました。

News!



「わくわく」感でお客さまの心つかめ

大阪で手書きPOP研修会を開催

くらし支援事業部



POPの書き方について学ぶ受講者

近畿1府2県からJAグループ関係者11人が参加。講師の（株）ビーアップの石川伊津氏が、3分間でPOPが書けるように、キャッチコピーの考え方から実際に手書きPOPを完成させるまでのノウハウを分かりやすく解説しました。

また、エコープマーク品のPRに役立ててもらえるよう、基礎知識の研修やNB（ナショナルブランド）品との食べ比べも行いました。

くらし支援事業部は10月11日、大阪市の大阪JAビルでエコープマーク品の取り扱い拡大に向け、手書きPOP研修会を開きました。

News!



国産果汁のチューハイを期間限定発売

山梨県産すもも、新潟県産ル レクチエを使用

山梨県本部、新潟県本部

11月5日発売の「キリン 氷結ストロング 山梨産太陽のすもも」（左）と「キリン 氷結ストロング 新潟産ル レクチエ」



山梨県本部は原料のすもも「太陽」を供給。昨年の「氷結」スタンダードシリーズに次ぐ取り組みです。甘酸っぱさがじゅわっと広がります。

新潟県本部は原料の西洋梨「ル レクチエ」を供給。「氷結」ブランドで初のフレーバーとなりました。芳醇な香り、上品な甘みが味わえます。

山梨県本部と新潟県本部が原料の果汁を供給した「キリン 氷結 ストロング 山梨産太陽のすもも」「同 新潟産ル レクチエ」が期間限定で全国発売されました。

秋田県
本部

葵わかなさん
「ごはんホームパーティ」



ホームパーティの料理はすべて白いごはん！

デビュー35周年を迎えた秋田米「あきたこまち」。昨年に続き、葵わかなさんが出演。音楽は秋田県出身の高橋優さんが歌う「白米の味」です。



▶ CM動画はこちら

山形県
本部

田中圭さんが「雪若丸」を味わう



CM発表会に登場した田中圭さん＝中央(10月11日、東京都内で)

昨年本格デビューした「雪若丸」。昨年に続き田中圭さんが出演し、炊きたての「雪若丸」を卵かけご飯やカレーで味わっています。



▶ CM動画はこちら

新潟県
本部

浅田真央さんがOL役に挑戦



OL役に挑戦した浅田真央さん

新潟米コシヒカリのCMキャラクターとして3年目となる浅田真央さんが、OL役に挑戦しています。特設サイトでは「働く女性応援レシピ」も紹介。



▶ CM動画はこちら

岩手県
本部

女優「のん」さんが稲穂役に！



強風や雨の中でも強く生きる「稲穂」を演じた のんさん。

「純情産地いわてのん宣伝本部長」が出演。のんさんは、岩手の自然の中で育つ「稲穂」を演じています。YouTube にはメイキング動画も公開。



▶ CM動画はこちら

宮城県
本部

サンドウィッチマンが
弁当屋を舞台に



サンドウィッチマンが登場した新CMの発表会(9月26日、東京都内で)

昨年に続き「みやぎ米メッセンジャー」に任命された仙台市出身のサンドウィッチマンの2人が出演。伊達さんが弁当屋主人、富澤さんが来店客を演じています。



▶ CM動画はこちら

滋賀県
本部

「なんでだろ～」で近江米をPR



「テツandトモ」さんが歌って近江米をPR

近江米のおいしい理由「なんでだろ～」を理解していただくべく、滋賀県ゆかりの芸人「テツ and トモ」さんが元気に歌いながら近江米をPRしています。



▶CM動画はこちら

富山県
本部

木村文乃さん 富山弁で「富富富」をPR



富山弁で農家の娘役を演じた木村文乃さん

デビュー2年目を迎えた「富富富」。昨年に続き木村文乃さんが出演し、富山弁で、元気な農家の娘役を演じています。



▶CM動画はこちら

鳥取県
本部

今年本格デビューの 「星空舞」を手書きアニメで



鳥取と縁のある作家 松本力さんが制作した手書きアニメ

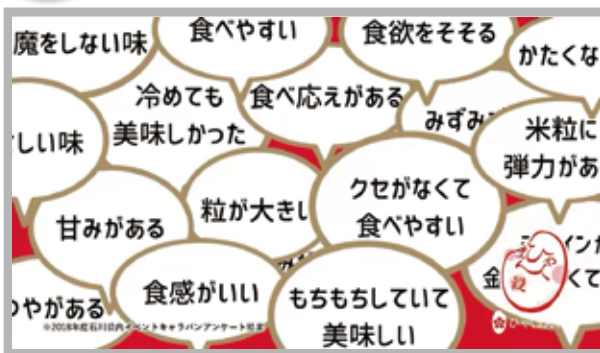
20年かけて開発され、今年本格デビューの「星空舞」。手描きアニメーションで「星空」のイメージを表現しています。



▶CM動画はこちら

石川県
本部

「ひやくまん穀」のロコミを紹介



「ひやくまん穀」に対する県民の高評価なロコミを紹介

デビュー3年目となる「ひやくまん穀」。県民からの高評価なロコミや、中食・外食含めさまざまな場面で食べられるようになったことを伝えています。



▶CM動画はこちら

愛媛県
本部

今年デビューの「ひめの凜」をPR



炊きたても冷めてもおいしい「ひめの凜」の魅力を表現

今年産から販売を始めた、愛媛の新しいお米「ひめの凜^{りん}」。女子学生が、夜食におにぎりを食べながら勉強に打ち込む場面などを映し出し、炊きたてはもちろん冷めてもおいしいという「ひめの凜」の魅力を表現しています。また、お米を食べて頑張る力に変えてほしいという思いも込められています。

岐阜県
本部

おいしいは、美しいがつくる



清流でおむすびを頬張る藤川瑠々さん

岐阜県の美しい水で美味しいお米がつくられていることを表現。地元モデルの藤川瑠々さんが、おむすびをうれしそうに頬張る姿でぎふの米のおいしさを伝えています。



▶CM動画はこちら

ロボットをサルモネラ検査に活用

安川電機の協力で開発、省力化を実現

家畜衛生研究所は、(株)安川電機の協力を得て、サルモネラ検査用のロボットシステムを開発し、平成30年4月に導入しました。以来、省力化が実現し、円滑な検査処理に貢献しています。【畜産生産部】



単腕ロボット



双腕ロボット

多大な労力を要する サルモネラ検査

採卵養鶏場では鶏卵のサルモネラ菌汚染を予防するため、鶏舎や鶏卵のサルモネラ菌の有無を定期的な検査で確認しています。家畜衛生研究所クリニックセンターでは全国の養鶏場から委託を受け、年間約4万検体(平成30年度)を検査しています。

サルモネラ菌の検査は多くの工程

から成り、そのすべてを人手で行っていたため、多大な労力と時間がかかっていました。そこで、(株)安川電機の協力を得て平成28年にロボットシステムの開発に着手。平成30年4月に単腕・双腕の2台のロボットを導入しました。

0.5人/日の省力化を実現

ロボット導入により、約0.5人/日の省力化が実現し、検査員の労力の

大幅な軽減が達成されました。今後は1人/日の省力化を目標に、ロボットの作業能力のさらなる向上を目指します。

今回、検査の効率化にはロボット導入というハード面のみならず、人材配置や作業工程といったソフト面の改善も重要であることが分かりました。今後も、ハードとソフトの両面で向上を続け、質の高い検査で安全な畜産物の供給に貢献します。

農業とテクノロジーをテーマとしたイベント

AG/SUM(アグサム) 2019に出展

全農は11月18～20日、東京・日本橋で開かれる、農業とテクノロジーをテーマとしたイベント「Agritech & Foodtech Summit (AG/SUM・アグサム) 2019」に協賛し、講演や展示などで参加します。【広報・調査部】

山崎理事長が講演

(11月18日 10:30～)

全農の山崎周二理事長が「農家に寄り添った、持続可能な農業への挑戦」と題し講演します。



山崎理事長

ワークショップ

(11月19日 10:00～)

食品の除菌剤、畜産現場の消毒剤として利用される過酢酸製剤ついて、また、DNAチップカードを活用した牛の疾病検査について、関係各社から説明いただきます。

ロボットなどを展示

(11月18～20日)

(株)安川電機のトマト箱詰めロボット、実証試験中のウェアラブル端末などを展示します。

詳細は公式サイトをご覧ください。
<https://agsum.jp/ja/>



[青 果 情 勢]

(園芸部)



野 菜

主力産地は関東以西中心へ

概況

11月は、パレシヨ・タマネギなどを除き、本州の関東以西と西南暖地を中心の出荷となります。

キャベツは、愛知・千葉などが中心の出荷となります。台風被害は軽微であり、各産地昨年を上回る出荷を見込みます。

ハクサイは茨城中心の出荷となります。キャベツ同様、台風被害は軽微であり、生育はおおむね順調となっています。出荷量は前年を上回る見込みです。

ダイコンは、千葉・神奈川などが中心の出荷となります。種まきは順調に進み、生育良好です。今年も豊作であった前年並みの出荷量を見込みます。

ニンジン、パセリなどが中心の出荷となります。台風15号の被害がありましたが、その後の好天から生育は回復に向かっています。出荷量は豊作であった前年並みを見込みます。

レタスは、茨城・兵庫・静岡などが中心の出荷となります。台風により一部産地で病気など見られましたが、徐々に回復傾向となっています。出荷量は前年を上回る見込みです。

トマトは、熊本などが中心の出荷となります。9月九州の長雨から、定植遅れが見られましたが、徐々に回復してくるでしょう。出荷量は前年並みの見込みです。

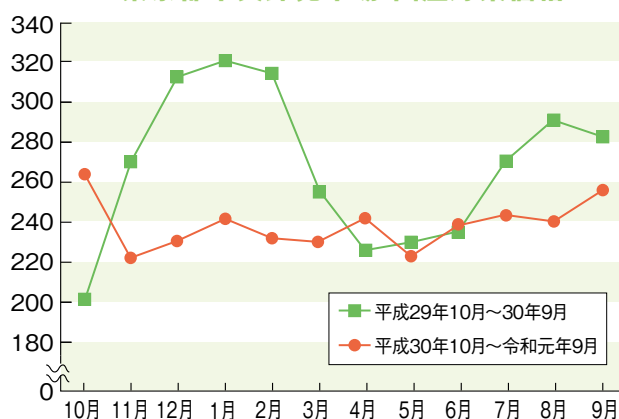
キュウリは、埼玉・群馬などの関東産地から宮崎・高知中心の出荷となります。曇天・低温の影響があり、出荷のペースは鈍化していますが、越冬作に切り替われば生育良好であるため、出荷量は前年並みを見込みます。

パレシヨ・タマネギは、北海道が中心の出荷となります。今年も豊作傾向であるため、前年を上回る出荷量を見込みます。

店頭

朝晩の冷え込みが厳しさを増して、温かい鍋を囲む機会が増える季節となってきます。そのため、野菜売り場では、ダイコンやハクサイ、ネギに加えてきのこ類の品ぞろえも充実してきます。

円/キロ 東京都中央卸売市場 国産野菜価格



果 実

秋の味覚が勢ぞろい

概況

11月はミカン、リンゴを中心に、秋果実の種類が豊富な時期となります。

ミカン類は、愛媛・長崎・熊本などが中心の出荷となります。中旬から早生種が出そろふ時期となり、出荷量は少なかった前年をやや上回る見込みです。

リンゴは、青森・長野・山形などを中心に、「ふじ」の出荷が始まります。台風19号の影響により出荷量が減少する産地や傷果の発生率が高くなる可能性があります。出荷量は前年をやや下回る見込みです。

柿は、福岡・奈良などを中心に「富有」、新潟を中心に「平核無」の出荷となります。着色遅れにより、出荷も遅れており、ピークは11月中旬となる見込みです。出荷量は、台風の被害により少なかった前年をやや上回る見込みです。

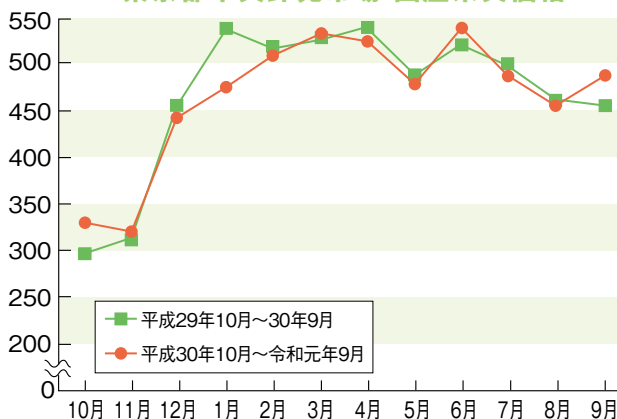
西洋梨は、山形の「ラ・フランス」、新潟の「ル・レクチエ」などの出荷となります。肥大も順調で、出荷量は前年をやや上回る見込みです。

イチゴは、栃木を中心に福岡・静岡などの出荷となります。台風15号、19号の影響により定植遅れ、生育遅れが見られる産地があり、上旬は平年を下回る出荷量となる見込みです。下旬には各産地出そろいますが、出荷量は前年をやや下回る見込みです。

店頭

果物売り場では、早生ミカン、ふじリンゴ、平核無柿、富有柿、イチゴに加えて西洋梨(ラ・フランス)や干し柿など、秋冬の味覚が所狭しと青果コーナーの前面で売り出されます。

円/キロ 東京都中央卸売市場 国産果実価格



主産県
だより

10月はレタス、ダイコン、トマト、キュウリ、梨の主産県が一堂に会し、作況見通しや販売対策の共有化、消費拡大の進め方について協議しました。今後も主産県による情報交換会などを定期的に開催し、出荷情報や販売情報の共有を図ります。

農泊ポータルサイト「農泊.net」を開設

宿泊施設のオンライン予約も

くらし支援事業部は10月31日、農泊に取り組む地域と農泊を体験したいユーザーをつなぐポータルサイト「農泊.net」を開設しました。【くらし支援事業部】

全国の農山漁村の宿泊施設や飲食施設、農業体験などの情報を網羅しており、フリーワード(例:棚田、古民家)、ジャンル(泊まる・楽しむ・味わう)、都道府県で検索できます。また、宿泊施設のページにはオンライン予約できる「予約ボタン」を用意しています(一部施設は準備中)。

今後、農泊に関するニュースやコラムも随時掲載し、コンテンツの充実を進めます。



農泊.netはこちら <https://nohaku.net/>



※JA全農ホームページ内「食と農を体験する」からもアクセスできます。
<https://www.zennoh.or.jp/>

全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

毎週土曜日13時～ TOKYO FM系列38局ネット

11月23日放送のプレゼントは、「久留米産 博多和牛ローストビーフ」(150g)を3名様に。やわらかな歯応えと、口に広がるジューシーな肉汁のうまさを味わっていただけます。

また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは11月23日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです。

「博多和牛ローストビーフ」はJAタウンからご購入いただけます。

JAタウン <https://www.ja-town.com/shop/c/c8001/>
(ショップ名:博多うまかショップ)

JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

いわて純情館 (JA全農いわて)



JAタウンは
こちらから



いわて純情冬恋(はるか)
約2.5kg 9～12玉……4800円

JA全農いわて「いわて純情館」から、いわて純情りんご「冬恋」を紹介します。岩手県生まれの品種「はるか」から、糖度などを光センサー選果機で選別し、糖度・蜜入り・外観において高い水準を満たしたものを「冬恋」と命名しています。県内のリンゴ栽培スペシャリストたちが立ち上げた「岩手冬恋研究会」では、現在も高品質な「冬恋」の栽培に向けて研究をしています。

工夫を凝らして栽培された「冬恋」は、蜜がぎっしり(蜜入り指数2.5以上)、甘くてジューシー! 傷やさびが少少ない綺麗な見た目ですので、贈り物にも最適です。

現在、「いわて純情館」では12月から出荷が始まる「冬恋」の予約販売をしています。生産者の努力が詰まったいわて純情りんご「冬恋」をぜひこの機会にご賞味ください。

「冬恋」の中でも更に高い水準を満たした「いわて純情プレミアム冬恋」も予約販売中です。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報、商品等の発送にのみ使用します。

